## 第11次交通安全計画比較表

	国	山形県	酒田市(案)
計画の基本理念	<ul> <li>・人命尊重の理念に基づき、究極的には交通事故のない社会を目指す。</li> <li>・人優先の交通安全思想を基本とし、あらゆる施策を推進する。</li> <li>・高齢化が進展しても安全に移動できる社会の構築、さらに年齢や障がいの有無等にかかわりなく、安全に安心して暮らせる共生社会を構築する。</li> </ul>	・交通事故のない、安全、安心な山形県を目指す。 ・人優先の交通安全思想を基本とし、あらゆる施策を推進する。 ・高齢化が進展しても安全に移動できる社会を構築する。	<ul><li>・人命尊重の理念に基づき、継続的な交通安全施策を実施することにより、交通事故のない安全・安心な酒田市を目指す。</li><li>・人優先の交通安全思想を基本とし、あらゆる施策を推進する。</li><li>・高齢化が進展しても安全に移動できる社会を構築する。</li></ul>
道路交通の安全	【目標】 ①令和7年までに年間の24時間死者数を2,000人以下とする。②令和7年までに年間重傷者数22,000人以下にする。 【対策】 《視点》 ①高齢者及び子どもの安全確保 ②歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上 ③生活道路における安全確保 ④先端技術の活用推進 ⑤交通実態等を踏まえたきめ細かな対策の推進 ⑥地域が一体となった交通安全対策の推進 《対策の8つの柱》 ①道路交通環境の整備、②交通安全思想の普及徹底 ③安全運転の確保、④車両の安全性の確保、 ⑤道路交通秩序の維持、⑥救助・救急活動の充実、 ⑦被害者支援の充実と推進、⑧研究開発及び調査研究の充実	【目標】(国の目標値の概ね 1%以下) ①令和7年までに年間の 24 時間死者数を 24 人以下とする。 ②令和7年までに年間重傷者数を 280 人以下とする。 【対策】 《視点》 ①高齢者及び子どもの安全確保 ②歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上 ③幹線道路及び生活道路における安全確保 ④先進技術の活用推進 ⑤交通事故実態等を踏まえたきめ細かな対策の推進 ⑥地域が一体となった交通安全対策の推進 《8つの柱(施策)》 ①交通安全思想の普及徹底、②安全運転の確保、 ③道路交通環境の整備、④車両の安全性の確保、 ⑤道路交通秩序の維持、⑥救助・救急活動の充実、 ⑦交通事故被害者等支援の推進、⑧交通事故調査・分析の充実	【目標】 ①令和7年までに年間の24時間死者数を2人以下とする。 ②令和7年までに年間重傷者数を22人以下とする。 【対策】 《視点》 ①高齢者及び子どもの安全確保 ②歩行者及び自転車の安全確保と遵法意識の向上 ③幹線道路及び生活道路における安全確保 ④地域が一体となった交通安全対策の推進  《交通事故防止対策の6つの柱》 ①交通安全思想の普及徹底 ②安全運転の確保 ③道路交通環境の整備 ④救助・救急活動の充実 ⑤交通事故被害者等支援の推進 ⑥交通事故調査・分析の充実
鉄道交通の安全	省略	省略	
踏切道における 交通の安全	【目標】	【目標】 踏切事故件数ゼロを目指す。  【対策】  《視点》 それぞれの踏切の状況等を勘案した効果的対策の総合的かつ積極的推進 《4つの柱》  ①踏切道の立体交差化、構造の改良及び歩行者等立体横断施設整備の促進 ②踏切保安設備の整備及び交通規制の実施 ③踏切道の統廃合の促進 ④その他踏切道の交通の安全及び円滑化等を図るための措置	【目標】 踏切事故件数 0 件  【対策】  《視点》 それぞれの踏切の状況等を勘案した効果的対策の総合的かつ積極的推進 《事故防止の3つの施策》  ①踏切道の構造の改良の促進 ②踏切保安設備の整備 ③その他踏切道の交通の安全及び円滑化等を図るための措置
海上交通の安全	省略		
航空交通の安全	省略		